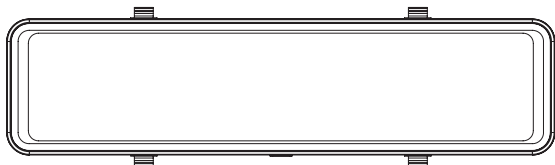


2カメラ・ルームミラー型ドライブレコーダー

# ***NX-DR-M22***

## **取扱説明書**

**保証書付**



このたびは NX-DR-M22 をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。  
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。

本体の電源は DC5V です。必ず、付属のカー電源コードを使用してください。

# 目次

## 必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意	3
免責について	4
個人情報の保護について	4
microSD/SDHC カードに関するご注意	5
LED 式信号機について	6
パソコンで映像の再生をする場合の動作環境	6
もしも事故が起きてしまったら	6

## 準備する

同梱品を確かめる	7
各部の名称	9

## 設置と接続

車へ取り付ける	10
1. 本体 (フロントカメラ) の取り付け	11
2. リアカメラ部の取付	12
3. GPS ユニットの取り付け	14
4. カー電源コードの接続	16
5. 画面タッチによるフロントカメラ/リアカメラの表示切り替え	17
6. ガイドラインコードの接続	18

## はじめにすること

1. SD カードを挿入する	19
2. 本体の電源を入れる	20
3. 日時を確認する	20
4. SD カードのフォーマット	21

## 撮る

録画を開始する	23
1. 常時録画	25
2. イベント録画 (G センサー / 手動)	25
3. 静止画を撮る	26
録画を停止する	26

## 見る

本体で見る	27
パソコンで見る (SD カード)	30
パソコンで見る (専用ビューアー画面で見る)	32

## GPS 機能を使う

速度超過警報	35
--------	----

## 各種設定

### その他

記録時間の目安	43
オプションのパーキングモードケーブルを使う	43
本体ソフトウェアのアップデート	43

## 故障かな?と思ったら

## 主な仕様

## 保証規定 / 保証書

裏表紙

# 必ずお読みください

## 安全についてのお願い・ご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



### 警告

この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。



### 注意

注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 警告



### ■運転の妨げにならない場所に取り付ける

本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。また、取り付けの際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。万が一落下した場合でも、運転の支障にならない場所をお選びください。



### ■ケースは絶対にあけないでください

本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障や感電の原因となります。



### ■内部に異物を入れない

内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。



### ■電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。



### ■異常があるときはすぐ使用をやめる

発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用されますと火災や感電の原因になります。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。



### ■本機を濡らさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因になります。



### ■車を運転中に本機を操作しない

車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。

# 必ずお読みください

## ⚠ 注意



### ■衝撃や強い振動を加えない

使用している部品が壊れ故障の原因になります。



### ■使用温度範囲内で使用する

本機の温度保証範囲 (P.46) 以外で使用するとう内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分ご注意ください。



### ■高温時の取り扱いに注意する

本機に直射日光が当たっている状態など本機がかなり高温になっているときがありますので触れる際には、十分にご注意ください。



### ■お手入れの際、電源プラグを抜く



お手入れの際は必ず、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。また、お手入れには柔らかい布またはティッシュペーパーを使用し、シンナー、ベンジン、アルコール類を使用しないでください。使用するとケースが変形するおそれがあります。



### ■日本国内で使用する

本機の仕様は日本国内向けとなっています。



### ■取り付け場所を十分に考慮する

(P. 10)

## 免責について

### ■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本商品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など
3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. お客様による映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
5. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

## 個人情報の保護について

### ■個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

## microSD/SDHC カードに関するご注意

本説明書では、特にことわりがない場合、「microSD/SDHC カード」を「SD カード」と表記させていただきます。

※ SD カードは消耗品です。

SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。

※ SD カードは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

※ 本機以外で使用した SD カードを使用する場合は、必ず SD アソシエーションの SD フォーマッターでフォーマットを行ってください。（P.6 参照）

但し、SD カードによってはフォーマットを行ってもエラーが出る場合がありますが、弊社では一切の責任を負いません。

**重要！**

**SD カードは 1 ～ 2 週間を目安に定期的なフォーマットを実施してください。フォーマットを全くしないでご使用し、事故映像等が記録されない場合、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

※ SD カードが寿命を迎えている場合、または正常に記録されない場合の動作例

- ・記録が開始されない
- ・“SD カードエラー” が出る
- ・SD カードが挿入されていても“カードが抜かれました”と表示される

フォーマットをしても異常が起こる・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、SD カードを交換してください。

SD カードの寿命は概ね 3 ヶ月から 1 年程度です。（ドライブレコーダーのご使用状況（ご使用時間）により SD カードの寿命は変動します。この期間、また本製品の保証期間でカードの寿命を保証するものではありません）

また 1 年を経過したものはたとえ問題が無くても交換されることをお勧めします。

# 必ずお読みください

## フォーマットの方法

### ●パソコンをお持ちの方

SD カードをパソコンで読み取れるかどうか・動画の再生ができるかどうかを確認しフォーマットを行ってください。SD カードのフォーマットは、SD アソシエーションのウェブサイトから SD フォーマッターをダウンロード・インストールして行ってください。

### ●パソコンをお持ちでない方

ドライブレコーダーの再生モードで記録した映像を再生して問題が無いことを確認してください。その後、本体のメニューにフォーマットの項目がありますので、フォーマットを行ってください。(P.21 参照)

## LED 式信号機について

LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、記録映像で信号機が点滅しているように見える場合があります。

## パソコンで映像の再生をする場合の動作環境

- ・ Windows 8.1/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ Windows Media Player 等の H.264 動画再生ソフトがインストールされていること。(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

**重要！**

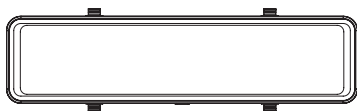
## もしも事故が起きてしまったら・・・

記録を停止しない限り、撮影を続けるため事故時の映像が上書きされてしまう場合があります。必ず撮影を停止し、本機から SD カードを取り出してケースなどで保護して保管してください。

# 準備する

## 同梱品を確かめる

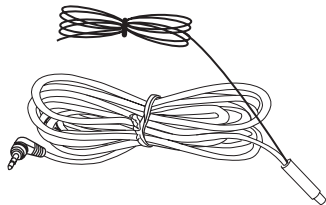
お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。  
内容をご確認ください。



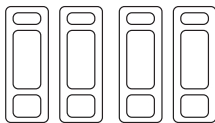
●本体：フロントカメラ（1 台）



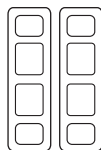
●防水リアカメラ〈ケーブル長：約 0.5 m〉  
（1 台）※両面テープ付



●リアカメラ接続ケーブル〈約 10 m〉（1 本）  
※リアカメラガイドライン用線〈約 1.2 m〉



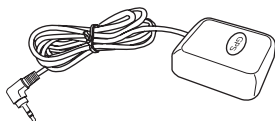
●本体固定用バンド（標準）4 本



●本体固定用バンド（ロング）2 本



●カー電源コード〈約 3.5 m〉（1 本）

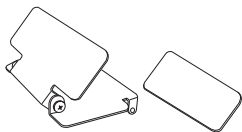


●GPS ユニット〈ケーブル長：約 1.9 m〉  
（1 台）※両面テープ付

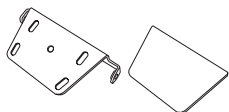
※本文のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

# 準備する

## 同梱品を確認する（つづき）



- 車内用リアカメラ取付ステー (1 個)  
固定両面テープ (1 枚)



- 車外用リアカメラ取付ステー (1 個)  
固定両面テープ (1 枚)



- リアカメラ取付ステー固定用  
小ねじ、ばね座金（各 2 本）



- 車外用リアカメラ取付ステー固定用  
タッピングねじ (4 本)



- 16GB microSDHC カード  
(1 枚)



- 取扱説明書〈本冊子〉  
保証書付 (1 冊)

## 別売品

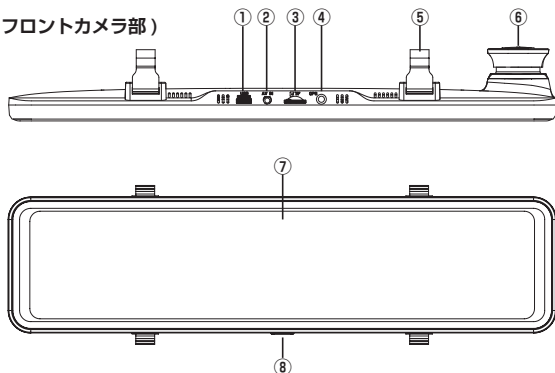
パーキングモードケーブル：DC-JD4PK

駐車時の撮影をする場合に使用します。また、車両のシガーソケットから電源を供給できない場合でも、直接車両の配線から電源を供給できます。



## 各部の名称

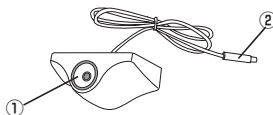
### ■本体（フロントカメラ部）



- ① 電源端子 (miniUSB) 端子  
電源入力は DC5V です。  
必ず付属のカー電源コードを接続してください。
- ② リアカメラ接続端子 (AV IN)  
リアカメラ接続ケーブルのプラグを接続します。
- ③ microSD/SDHC カード挿入部  
microSD/SDHC カードを挿入します。  
(最大 32GB)
- ④ GPS ユニット接続端子 (GPS)  
GPS ユニットのプラグを接続します。
- ⑤ 本体固定用バンド取り付けフック  
固定用バンドで本体をルームミラーに固定します。

- ⑥ フロントカメラレンズ
- ⑦ ミラー型タッチパネル LCD スクリーン  
11.88 型 IPS 液晶採用。設定等の操作は画面タッチで行うことができます。ルームミラーとしてもカメラモニターとしても使用できます。
- ⑧ 電源 / モニター切替ボタン  
長押しで電源 OFF。短押しで電源 ON。電源 ON 時、短く押す度にカメラモニターの表示 ON/OFF 切り替え。

### ■防水リアカメラ部



- ① レンズ
- ② 接続ケーブル  
リアカメラ接続ケーブルのコネクター部と接続します。

# 設置と接続

## 車へ取り付ける

### 取り付け上のご注意

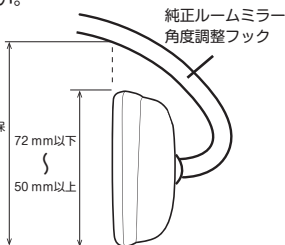
- 車を平らで安全な場所に駐車して作業をしてください。
- 配線後のコードが運転の支障にならないように固定してください。
- 道路運送車両法・保安基準に適合するように取り付けてください。
- 両面テープを貼り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。特に湿度の高い日は湿度を下げてから行ってください。また最初にセロテープ等などで仮止めをしてから取り付けすることをおすすめします。
- 貼り付け直後は十分な接着力が得られません。テープ本来の接着力を得るには24時間程度必要です。
- 接着力が高いため、はがす場合には接着面を傷める可能性があります。
- あらかじめモニターで撮影範囲を確認の上、取り付けしてください。
- ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けしてください。
- 純正ルームミラーの形状、または周辺の干渉物によっては取り付けできない場合があります。スマート・ルームミラー（モニター付ルームミラー）は取り付けできません。
- 本体固定用バンドは、時間が経過すると劣化します。劣化すると本体の脱落 / 落下の原因となりますので、新しいバンドに交換してください。  
販売店または弊社サービスセンターセンターにお問い合わせください。
- カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーのアンテナからできるだけ離して、機器に影響を与えないことを確認してください。

#### 取り付け可能な純正ルームミラーサイズの目安

ご注意：ルームミラーの形状によっては取り付けできない場合があります。

スマート・ルームミラー（モニター付ルームミラー）は取り付けできません。

90 mm以上確保

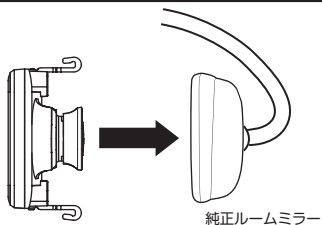


■正式に取り付ける前に仮止め、仮設置をし基本動作や配線が正常にできることを確認してください。また、車の電装品が正常に動作することも確認してください。

尚、接続する場所によっては専門的な技術と経験が必要な場合があります。お買い上げの販売店にご相談してください。

## 1. 本体（フロントカメラ）の取り付け

### 1. 純正ルームミラーに本体を取り付ける



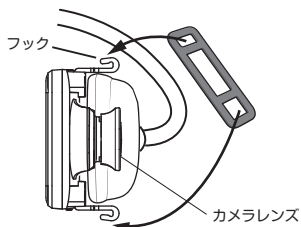
### 2. 本体固定用バンドを純正ルームミラー後方から本体のフックに取り付ける

※純正ルームミラーにカメラレンズが隠れないように取り付けしてください。

※固定用バンドはルームミラーのサイズに合わせ調整してください。

※本製品は純正ミラーに取り付けするため、重量がかかり、特に4気筒エンジンのアイドリング時に振動する場合があります。

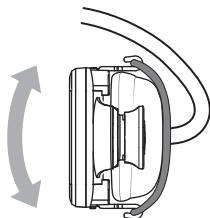
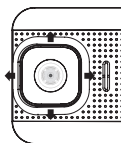
※標準の固定用バンドで取り付けられない場合はロングタイプを使用してください。



### 3. ミラー角度 / カメラ角度を調整する

※純正ルームミラーを持ちながらミラー角度を調整します。

※カメラレンズは上下左右に動きます。モニターで確認しながら調整してください。



常時リアモニターをして使用する場合、ミラーへの映り込みが少ない車両天井を映す角度に調整すると、映り込みが低減されます。

# 設置と接続

## 2. リアカメラ部の取り付け

### 車外に取り付けする場合（推奨取り付け）

#### 取付位置に関してのご注意

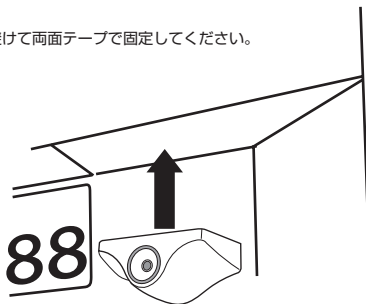
- 2009 年 1 月 1 日以降に製造された乗車定員 10 人未満の車両の外装技術基準の適用が、2017 年 4 月 1 日より開始されました。
- 自動車と人との衝突、接触時に人が負傷するおそれのある突起物が外装にあってはいけないことが規定されています。  
但し、適応外となる部位があります。
  - ・ 高さ 2 m 以上の部分
  - ・ フロアラインより下の部分
  - ・ 直径 100 mm の球体が接触しない部分
  - ・ 直径 100 mm の球体が突起物と接触する部分の曲率半径が 2.5mm 以上である等※詳細は国土交通省のホームページを参照ください。

#### 取り付ける前に

- 取付面の汚れ、湿気をしっかりと除去してください。
- あらかじめ仮接続、仮止めをし、モニターで確認しながら取り付ける位置を決めてください。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、接着面を暖めてから貼り付けしてください。
- 貼り付けたあと、24 時間以内は水をかけたり、無理な力を加えないでください。

#### ● 推奨取付位置

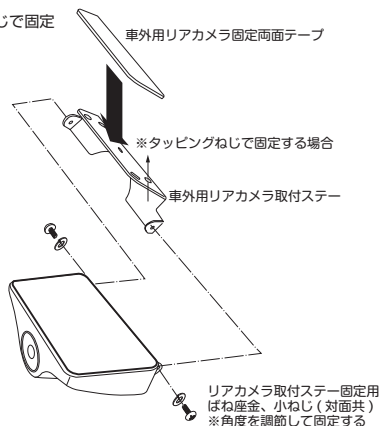
ナンバープレート近くのランプ等を避けて両面テープで固定してください。  
コードを車内に引き込んでください。



## ● カメラの角度を調整する必要がある場合

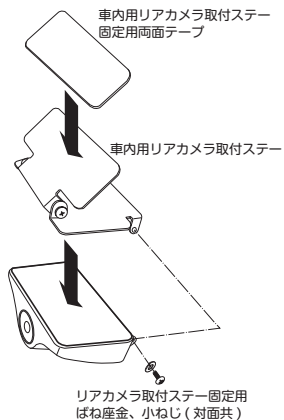
車外用リアカメラ取付ステーを使用して取り付けしてください。

※ねじ止めする場合は、付属のタッピングねじで固定してください。



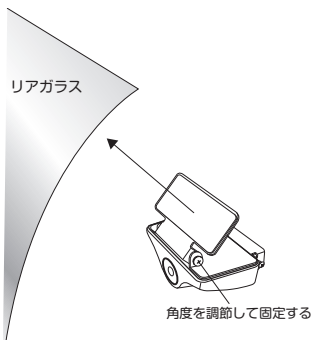
## 車内リアガラスに取り付けする場合

1. リアカメラに車内用リアカメラ取付ステーを貼り、付属のばね座金と小ねじで固定する



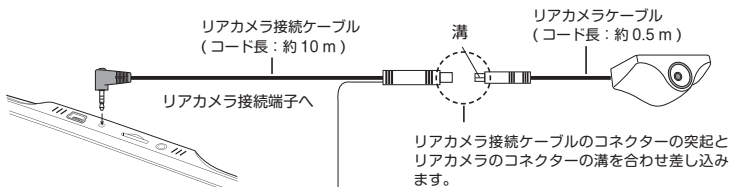
# 設置と接続

2. リアカメラを車内のリアガラスに貼り、  
角度を調節してねじで固定する



※プライバシーガラスやスモークフィルムを貼ったリアガラスに取り付けした場合、  
本体画面に映る後方映像と記録映像が暗くなり鮮明な映像が得られない場合があります。

3. リアカメラ接続ケーブルのプラグを本体に接続し、コネクタ部をリアカメラに接続  
する



※接続コードは、運転の支障にならない  
ように配線処理をしてください。

## ガイドライン用コード

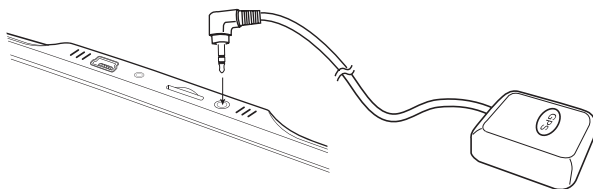
車両のバックランプ線の+側に接続することにより、シフトレバーをリバースにするとモニターがリアカメラの映像に自動的に変わります。また、画面上にガイドラインが表示され、バックする際の目安になります。

※ P.18 参照

・ 接続しない場合は、テープ等で絶縁処理してください。

### 3. GPS ユニットの取り付け

1. GPS ユニットの両面テープで車のダッシュボード等の GPS 電波を受信しやすい場所に設置する
2. GPS ユニットのプラグを本体の GPS ユニット接続端子に差し込む



- 車外には設置しないでください。
- 両面テープを貼り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。特に湿度の高い日は湿度を下げてから行ってください。また最初にセロテープなどで仮止めをしてから取り付けすることをおすすめします。
- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。また、エアバックの近くには取り付けしないでください。
- 周辺部に金属やゴムなどの障害物がこないようにしてください。
- GPS 測位に時間がかかる場合があります。また、走行中にも受信しにくい場合があります。(高速道路の高架下等は GPS が受信しにくい場所にあたります)
- カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーのアンテナからできるだけ離して、機器に影響を与えないことを確認してください。
- GPS ユニットの抜き差しをする場合は本体の電源を OFF にしてください。

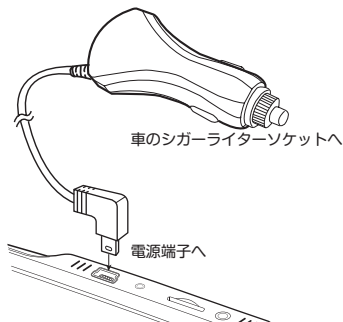
# 設置と接続

## 4. カー電源コードの接続

1. 付属のカー電源コードのプラグを本体の電源端子に差し込む
2. カー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込む

### △注意

- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますので、よく掃除をしてから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。また、付属のカー電源コードを切断して車両配線と直結しないでください。  
車両配線と直結する場合は、別売のパーキングモードケーブルをお買い求めください。

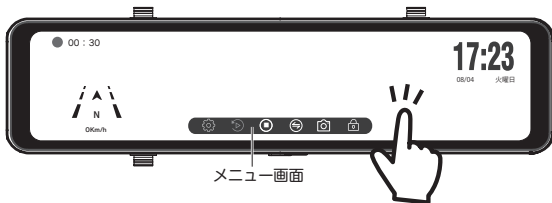




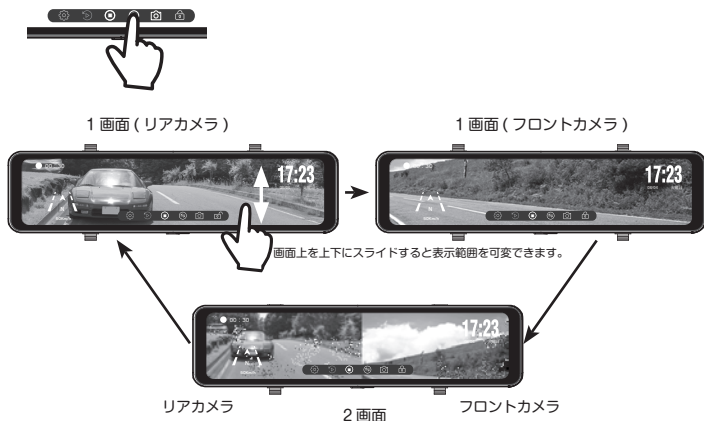
## 5. 画面タッチによるフロントカメラ / リアカメラの表示切り替え

録画中 / 録画停止時にボタン操作でフロントカメラとリアカメラの表示を切り替えることができます。

### 1. LCD スクリーンをタッチして“メニュー”画面を表示させます。



### 2. ㊟ ボタンをタッチする度に切り替わります。



# 設置と接続

## 6. ガイドラインコードの接続

### 1. 車両のバックランプ線の + 側にガイドラインコードを接続する

### 2. ガイドライン表示の確認

- (1) 車両のシフトレバーをリバースにするとリアカメラの映像に自動的に変わります。
- (2) 同時に赤色、黄色、緑色のガイドラインが表示されます。



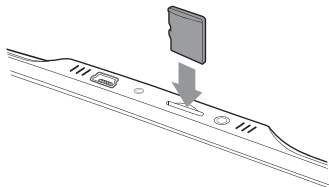
ガイドライン表示  
※ガイドライン表示は  
設定で消すこともでき  
ます。(P.42 参照)

ご注意：ガイドラインが画面の中心位置となるようにリアカメラの取付位置を調整してください。

# はじめにすること

## 1.SD カードを挿入する

SD カードのラベル面を LCD スクリーン 側にして本体のカード挿入部に“カチッ”と音がするまで挿入します。必ずカードの向きに注意し無理に入れないでください。また、カードを抜く場合にも同様に“カチッ”と音がするまで押してから引き抜いてください。



### 重要！

#### ⚠ 注意

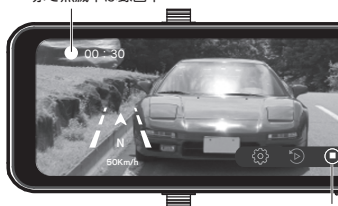
- SD カードを抜く場合は本機の電源が切れていること、または録画が停止していることを確認してから行ってください。SD カード破損の原因となることがあります。
- SD カードは消耗品です。ドライブレコーダでご使用の場合耐用年数は 3 ヶ月から 1 年です。3 ヶ月から 1 年毎に新しい microSDHC カードと交換することをお勧めします。
- SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えてを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。1～2 週間を目安に本体またはパソコンでフォーマットを行ってください。
- 同梱以外の SD カードを使用する場合も必ずフォーマットをしてください。また、SD カードメーカーによっては性能を発揮できない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。（推奨 microSDHC カード：8～32GB の Class10 以上）
- 小さなお子様のいらっしゃるご家庭では手の届かないところで保管してください。

# はじめにすること


## 2. 本体の電源を入れる

1. SD カードを挿入する
2. カー電源コードのプラグを本体と接続する (P.16 参照)
3. 車のエンジンをかける  
自動的に電源が入り 録画が自動的に始まります。

録画マーク  
赤で点滅中は録画中



タッチすると録画の停止

※録画中は録画マークが赤で点滅します。  
メニュー画面で“” ボタンをタッチ  
すると録画が停止します。但し、オート  
録画がオンの場合は、しばらくすると録  
画を開始します。(初期設定はオン P.  
38 参照)

## 3. 日時を確認する

本製品は GPS を搭載しており、GPS を測位すると、自動的に日時を取得できます。一度、日時を取得すれば、GPS が測位していない状況でも日時は内蔵電池で保持されます。

1. GPS 測位していることを確認する
2. 日時を確認してください

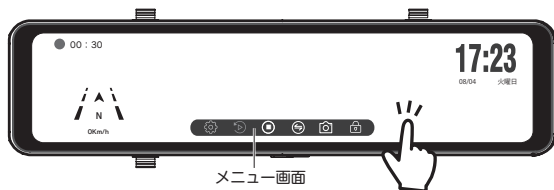


GPS 即位すると、方位が表示され、速度が緑色  
に変わります。

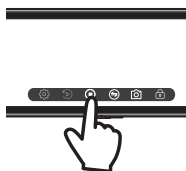


## 4.SD カードのフォーマット

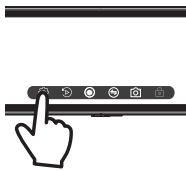
### 1.LCD スクリーンをタッチして“メニュー”画面を表示させる



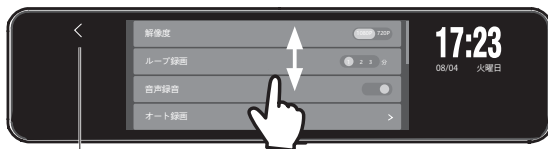
### 2. [停止] ボタンをタッチして録画を停止する



### 3. [設定] ボタンをタッチする



### 4. 設定画面が表示されます

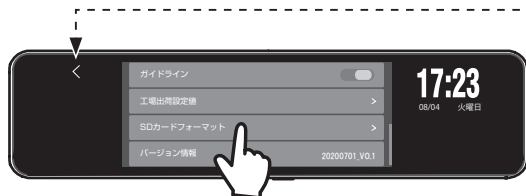


“戻る” ボタン

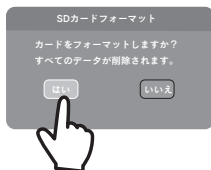
設定画面上を上下にスライドさせて、“SD カードフォーマット”を表示させます。

# はじめにすること

## 5. “SD カードフォーマット” をタッチする



SD カードフォーマット画面が表示されます。



## 6. “はい” をタッチする



“カードフォーマット中”が表示されます。



“カードフォーマット完了”が表示され設定画面に戻り、フォーマット完了になります。

## 7. 設定画面の“戻る”ボタンをタッチして終了

設定画面左上の“<”をタッチすると録画モードに戻り録画を開始します。-----

※ SD カードは定期的にフォーマットを行ってください。  
フォーマットをしないと、エラーの警告が出たり、正常に記録ができなくなります。(P.5 参照)

## 録画を開始する

### SD カードを挿入し、車のエンジンをかける

外部からの電源が供給されると、自動的に電源が入り記録が開始されます。

録画が開始されると、画面の録画マークが点滅を開始します。

※ SD カードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。“カードが抜かれました”と表示されます。SD カードを挿入すると録画を開始します。


### 録画画面

録画時間のカウント表示  
※録画繰り返し時間でカウントします。  
(P. 38 ループ録画参照)

録画マーク  
赤で点滅中は録画中



タッチすると録画の停止

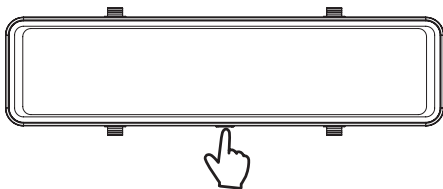
※録画中は録画マークが赤で点滅します。  
メニュー画面で“” ボタンをタッチすると録画が停止します。但し、オート録画がオンの場合は、しばらくすると録画を開始します。(初期設定はオン P. 38 参照)

### ●スクリーンセーバー

録画中 / 録画停止中に“電源 / モニター切替ボタン”を短く押すと、液晶画面が消えます。(スクリーンセーバー) 再度、ボタンを押すと液晶画面が表示されます。LCD スクリーンをタッチしても表示されます。

※液晶画面が消えても録画等の動作は行っています。

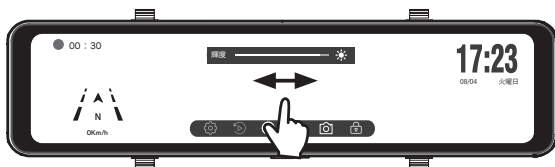
※各種設定の“液晶オフ”でも設定できます。(P.40 参照)



## ●液晶画面の明るさ調整

録画中 / 録画停止中に LCD スクリーンをスライドすると、輝度画面が表示されます。  
LCD スクリーンを左右にスライドすると、液晶画面の明るさを調整できます。

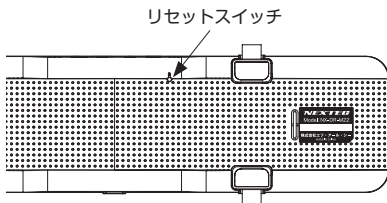
※各種設定の“オートバックライト”をオンにすると自動で明るさを調整します。  
(P. 41 参照、初期設定はオフです。)



画面上を左右にスライドさせて、明るさを調整します。

## ●初期化 (リセット) について

本機が正常に動作しない場合やフリーズした場合には初期化を行います。本体裏面のリセットホールのスイッチをクリップの先などで押してください。  
リセットをすると、正しく電源が再起動されます。初期化を行っても問題が解決されない場合は、SD カードを抜いて再度リセットをして確認します。SD カードを抜いて正常に動作する場合は SD カードをフォーマットしてください。






## 1. 常時録画

常時録画は SD カード容量の約 70%の保存領域内で録画繰り返し時間ごとにファイルを作成し、連続撮影をします。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

※録画繰り返し時間を変更することができます。(P.38 ループ録画参照 初期値は 1 分)

## 2. イベント録画 (G センサー / 手動)

イベント録画は SD カード容量の約 29%の保存領域内で G センサーが設定値以上の衝撃を検知したり、手動で “” ボタンをタッチするとイベント録画として保存します。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

※ G センサー感度設定は P. 40 参照

※イベント録画が開始されると“イベント録画を開始します”が表示され録画マークが黄色で点滅します。ボタンが黄色の “” になります。

イベント録画中に再度 “” ボタンをタッチするとイベント録画の解除になります。

※録画繰り返し時間を変更することができます。(P.38 ループ録画参照 初期値は 1 分)




### ⚠ 注意

■各種設定で“緊急上書き”をオフに設定すると、上書きされません。(P.39 参照 初期値はオン) 保存領域が約 29%になるとイベント録画ができなくなりますので、注意してください。

# 撮る

## 3. 静止画を撮る

録画中 / 録画停止時に“” ボタンをタッチすると写真を1枚撮影することができます。この時、シャッター音が鳴ります。

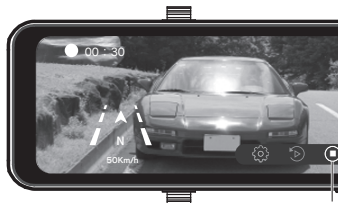
静止画はSDカード容量の約1%の保存領域内で撮影できます。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して撮影を繰り返していきます。




## 録画を停止する

### 1. “” ボタンをタッチする



エンジンを切るか、“” ボタンを押すと録画が停止します。

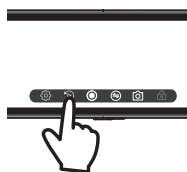


タッチすると録画の停止

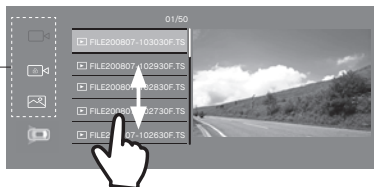
※メニュー画面で“” ボタンをタッチすると録画が停止します。但し、オート録画がオンの場合は、しばらくすると録画を開始します。(初期設定はオン P. 38 参照)

## 本体で見る

1. 録画中は、“” ボタンをタッチして録画を停止する
2. メニュー画面で“” ボタンをタッチして再生モード画面にする






録  
画  
方  
法  
選  
択



ファイル画面上を上下にスライドさせて、  
ファイルを選択しタッチ

### 3. 録画方法を選択する

- (1) 録画方法選択し、ボタンをタッチする。

-  常時録画
-  イベント録画
-  静止画

- (2) 録画方法を選択すると、その録画ファイルが表示されます。

- (3) フロントカメラ / リアカメラの切り替えボタンでカメラを選択します。

- (4) ファイル画面上をスライドして、再生したいファイルを選択します。



常時録画ファイル

## 4. ファイル名をタッチすると再生を開始する

※ 録画の再生を開始します。再生を一時停止するときは、“II” ボタンをタッチしてください。(II マークが▶に変わります) 一時停止状態でもう一度、“▶” ボタンをタッチすると再び再生を始めます。

### ファイル名

常時録画が記録されると下記のファイル名で保存されます。

FILE200801-123456F.TS

F: フロントカメラ  
 R: リアカメラ

西暦 月、日 時、分、秒 動画形式

### ◀ 常時録画のファイル名

### ファイル名

イベント録画が記録されると下記のファイル名で保存されます。

EMER200801-123456F.TS

F: フロントカメラ  
 R: リアカメラ

西暦 月、日 時、分、秒 動画形式

### ◀ イベント録画のファイル名

### ファイル名

静止画が記録されると下記のファイル名で保存されます。

IMG200801-123456F.JPG






F: フロントカメラ  
 R: リアカメラ

西暦 月、日 時、分、秒 静止画形式

### ◀ 静止画のファイル名

## 再生中画面



- ※ “” ボタンをタッチすると、再生中のファイルを保護します。保護されたファイルは鍵マークが黄色に変わります。保護されたファイルでタッチすると、保護を解除します。
- “” ボタンをタッチすると、再生中のファイルを削除します。但し、保護されたファイルは削除できません。
- “” ボタンをタッチすると、1 つ後のファイルを再生します。
- “” ボタンをタッチすると、1 つ前のファイルを再生します。
- “” ボタンをタッチすると、再生モード画面に戻ります。

## 5. 再生の終了

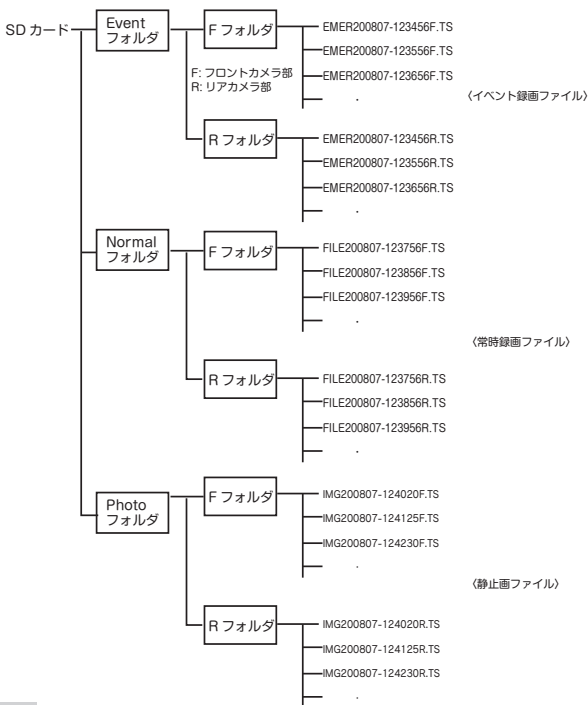
- ※ 再生モード画面で設定画面左上の “<” をタッチすると録画モードに戻り録画を開始します。オート録画がオンの場合は無操作が約 30 秒続くと録画を開始します。

## パソコンで見る (SD カード)

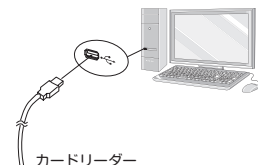
- ・ Windows 8.1/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ Windows Media Player 等の H.264 動画再生ソフトがインストールされていること。  
(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

### フォルダ構成

映像が記録されている SD カード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



## 1. カードリーダーをパソコンに接続する

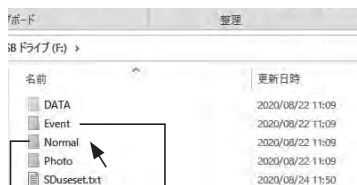


## 2. SD カードをカードリーダーに挿入する



※ microSD/SDHC を直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーは必要ありません。

## 3. “Event” “Normal” “Photo” フォルダがあるリムーバブルディスクを開く



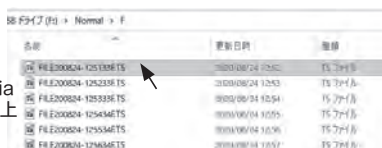
## 4. 再生したいフォルダを開く

“F” “R” フォルダが表示されます。



## 5. “F” または “R” フォルダを開く 録画ファイルが表示されます。

※ ファイルを開くと Windows Media Player 等の動画再生ソフトが立ち上がり、動画の再生が始まります。



## パソコンで見る（専用ビューアー画面で見る）

弊社ホームページより専用ビューアーソフトをインストールすることで、記録した映像をパソコンで再生することができます。

※ビューアー画面のデザイン等は変更する場合があります。

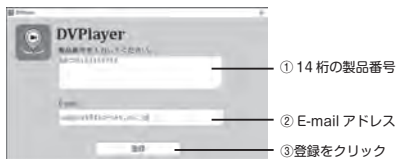
※ビューアーのインストール / 操作等はパソコンの基本的な知識が必要となります。

（パソコン操作等のお問い合わせは、お受けできません。）

1. DVPlayer.exe をダウンロードし、パソコンにインストールします。
2. DVPlayer を起動します。
3. ウィンドウ左上のプルダウンメニューより“バージョン” → “製品登録”を選択し、“製品番号を入力”をクリックします。

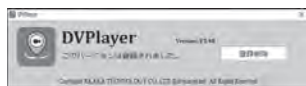


4. ドライブレコーダー本体のラベルに記載されている 14 桁の製品番号とお客様の E-mail アドレスを入力し、“登録”をクリックします。



5. 再度プルダウンメニューより“バージョン”を選択し“このバージョンは登録されました。”の表示が出ていることを確認します。以上で DVPlayer を使用可能です。

※登録可能なパソコンは1製品番号あたり1つのパソコンです。他のパソコンで使用する場合、“登録削除”をクリックして製品登録削除を実行後、再度、他のパソコンで製品登録してください。





6. ブルダウンメニューより“設定”→“再生モード”→“2画面”を選択します。

7. ブルダウンメニューより“ファイル”→“開く”を選択し、再生するファイルを選択します。ファイルを選択すると同一フォルダ内のファイルリストが読み込まれた後、選択したファイルから再生を開始します。



## ■ビューアーの説明

NO.	表示名	表示説明
①	プルダウンメニュー	“ファイル” “設定” “バージョン” のプルダウンメニューよりファイルを開く、各種設定を行うことができます。
②	表示エリア A	選択したフロントカメラ録画ファイルの映像を表示します。
③	時間スライダ	ドラッグして撮影時間内を移動できます。
④	操作ボタン	◀ プレイリストの前のファイルを再生します。
		◀◀ 10秒前を再生します。
		▶▶ 再生/一時停止ボタン。▶を押すと再生。  を押すと一時停止。
		▶▶▶ 10秒後を再生します。
		▶  プレイリストの次のファイルを再生します。
⑤	走行速度表示	GPSでの走行速度を表示します。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑥	緯度経度表示	緯度・経度を表示します。※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑦	選択ファイル走行情報表示	選択した録画ファイル中の最高速度、平均速度、走行距離を表示します。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑧	G センサーグラフ	G センサーのデータを X軸、Y 軸、Z 軸でグラフ表示します。
⑨	機能ボタン	スナップショットの保存。ファイルの再読み込み。表示サイズの変更。再生音量の変更ができます。
⑩	プレイリスト走行情報表示	プレイリスト中の最高速度、平均速度、走行距離を表示します。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑪	プレイリスト	読み込んだファイルが表示されます。
⑫	地図表示	地図上に自車位置が表示されます。 ※GPSデータが無い場合は変化しません。
⑬	表示エリア B	選択したリアカメラ録画ファイルの映像を表示します。

# GPS 機能を使う

本製品は GPS 機能を有しており、日時合わせを自動的に行ったり、速度も表示できます。また、“速度超過警報” “専用ビューアー画面” の機能が使用できます。

## 速度超過警報

- (1) 各種設定で “速度警告” の設定をします。(P.41 参照)
- (2) GPS 測位していることを確認します。
- (3) 速度が設定値を超えるとアラーム音で警報をします。



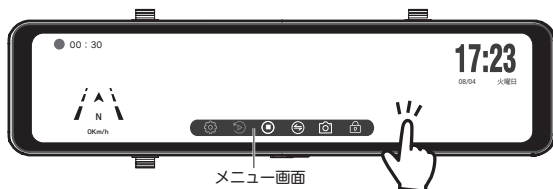
GPS 即位すると、方位が表示され、速度が緑色に変わります。

- ※ GPS を測位しているとき機能します。GPS 測位していない場合は機能しません
- ※ 周辺部に金属やゴムなどの障害物がこないようにしてください。
- ※ ビルの谷間、高速道路の高架下、森林等は GPS が受信しにくい場合があります。
- ※ GPS ユニットを抜き差しする場合は必ず電源を切ってください。

# 各種設定

## 設定手順

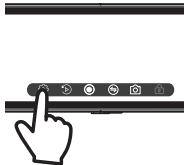
### 1. LCD スクリーンをタッチして“メニュー”画面を表示させる



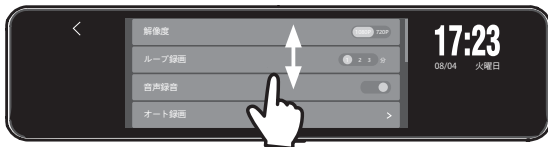
### 2. [stop] ボタンをタッチして録画を停止する



### 3. [gear] ボタンをタッチする



### 4. 設定画面が表示されます



設定画面上を上下にスライドさせて、設定したい項目を表示させます。

※設定項目に選択欄が表示されている項目はここで、タッチして選択できます。  
※設定項目に“>”が表示されている項目は画面をタッチすると選択画面が表示されます。

5. 設定項目に“>”が表示されている項目は画面をタッチすると選択画面が表示されます

## 6. お好みの設定をタッチする

設定が確定され設定画面に戻ります。

## 7. 設定画面の“戻る” ボタンをタッチして終了

設定画面左上の“<”をタッチすると録画モードに戻り録画を開始します。



# 各種設定

## ■設定項目

### 解像度の設定

#### 録画解像度

録画する画像の解像度を設定します。解像度を上げると録画時間が短くなり、下げると長くなります。

FHD (1080P)	初期設定
HD (720P)	

1080P 720P

画面をタッチすると、緑色になり設定が確定されます。

※リアカメラは 720P に変更できません。

### 録画繰り返し時間を設定する

#### ループ録画

一つの録画ファイルの時間を設定します。SD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルから消されて新しいファイルが保存されます。

1 分	初期設定
2 分	
3 分	

1 2 3 分

画面をタッチすると、緑色になり設定が確定されます。

### 映像と同時に周囲の音を録音

#### 録音

映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうかが選択できます。

オン	音声を記録する (初期設定)
オフ	音声を記録しない



ここをタッチするとオン  
(緑色で表示)

ここをタッチするとオフ (灰色で表示)

### 撮り忘れを防止する

#### オート録画

オンに設定すると、約 30 秒間無操作が続くと自動的に録画が開始されます。

※オート録画をオフに設定しても電源オン時では自動的に録画を開始します。

オン	自動的に録画に戻る (初期設定)
オフ	自動的に録画に戻らない

## イベント録画の上書き設定

### 緊急上書き

“緊急上書き”をオフに設定すると、書きされません。(初期値はオン)  
保存領域が 29%になるとイベント録画ができなくなりますので、注意してください。

オン	上書き録画をする (初期設定)
オフ	上書き録画をしない



ここをタッチするとオン (鏡像)  
(緑色で表示)

ここをタッチするとオフ (灰色で表示)

## 日付と時刻を設定する

### 日時設定

映像に記録する日時の設定をします。  
本製品は GPS ユニットを搭載していますので、自動取得できます。

## 画面タッチ音のオン / オフ設定

### タッチ音

画面タッチ時にタッチ音を鳴らすか選択できます。

オン	タッチ音鳴らす (初期設定)
オフ	タッチ音鳴らさない



ここをタッチするとオン  
(緑色で表示)

ここをタッチするとオフ (灰色で表示)

## LCD スクリーンに日時を表示する

### 日時表示

LCD に日時を表示する、しないの設定をします。

オン	表示する (初期設定)
オフ	表示しない



ここをタッチするとオン  
(緑色で表示)

ここをタッチするとオフ (灰色で表示)

## リアカメラの鏡像 / 正像の設定

### リアカメラ鏡像

鏡像 (左右反転) のオン / オフを設定します。

オン	鏡像 (初期設定)
オフ	正像

# 各種設定

## 言語を選択

### 言語

メニューや警告などの表示言語を選択できます。

選択可能な言語は日本語（初期設定）と English( 英語 ) 等 8 言語です。

## 蛍光灯のチラツキを抑える

### 電源周波数設定

蛍光灯下でのチラツキを抑えるための設定です。東日本では 50Hz、西日本では 60Hz を選択します。

50Hz	東日本地域 (初期設定)
60Hz	西日本地域

## 液晶画面を消す（スクリーンセーバー）

### 液晶オフ

一定時間経過すると LCD 表示を消します。

オフ	常に表示（初期設定）
1 分	
3 分	

再度、LCD スクリーンをタッチすると表示されます。

※液晶画面が消えても録画等の動作は行っています。

## 衝撃感度

### G センサー感度

G センサーは、事故や衝突など一定以上の衝撃が加わるとイベント録画として保存されます。G センサーの感度は 3 段階調整できます。

※ SD カードの容量の約 29% を超えると古いファイルから上書き保存されます。

※ 衝撃の度合いや方向によっては G センサー設定値より一定以下の場合、動作しない場合があります。

高感度	
中感度	(初期設定)
低感度	
オフ	G センサーを使用しない

## 音量の調節

### 音量

タッチ音や再生音量の調節をします。画面の “-” “+” をタッチして調節してください。

## タイムゾーン設定

### 時間区域設定

グリニッジ標準時。

日本は GMT+09 : 00( 初期設定 ) を選択してください。



## 速度表示単位の選択

### 速度単位

キロメートル毎時 (初期設定)

マイル毎時を選択します。

KM/H	キロメートル毎時表示 (初期設定)
MPH	マイル毎時表示

KM/H MPH

画面をタッチすると、緑色になり設定が確定されます。

## 設定速度を超えると警報する

### 速度警告

オフ (初期設定)

50km/h ~ 200km/h を選択してください。

## GPS 表示のオン / オフ設定

### GPS 表示

GPS 表示 (方位 / 速度) のオン / オフを設定します。



ここをタッチするとオン  
(緑色で表示)

ここをタッチするとオフ (灰色で表示)

## 時間の表示形式の選択

### 時間の表示形式

12 時間表示 / 24 時間表示 (初期設定)

を選択します。

12 時間 24 時間

画面をタッチすると、緑色になり設定が確定されます。

## 液晶画面の明るさ調整

### オートバックライト

オンに設定すると自動で明るさを調整します。

オフ (初期設定) に設定すると LCD スクリーンをスライドすると、輝度画面が表示されます。LCD スクリーンを左右にスライドすると、液晶画面の明るさを調整できます。(P.24 参照)



ここをタッチするとオン  
(緑色で表示)

ここをタッチするとオフ (灰色で表示)  
初期設定

# 各種設定

## リアカメラ映像にガイドラインを表示

### ガイドライン

ガイドライン用コードを車両のバックランプ線の＋側に接続することにより、シフトレバーをリバースにするとリアカメラの映像に自動的に変わります。また、画面上にガイドラインが表示され、バックする際の目安になります。ガイドライン表示の初期設定はオンです。(P.18 参照)



ここをタッチするとオン (初期設定)  
(緑色で表示)

ここをタッチするとオフ (灰色で表示)

## 設定を工場出荷時に戻す

### 工場出荷設定値

設定を工場出荷状態に戻します。出荷状態に戻すときにはメニュー選択後「はい」を選択してください。

はい
いいえ

## SD カードを初期化する

### SD カードフォーマット

SD カードの初期化を行います。SD カードを初期化すると、記録したデータは全て消去されます。必要なデータは初期化する前にあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。(P.21 参照)

はい
いいえ

## ソフトウェアのバージョンを確認

### バージョン情報

本機ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

# その他

## 記録時間の目安

SD カード容量	フロントカメラ解像度	常時録画	イベント録画 (衝撃/手動)	動画合計	静止画 (フロント+リア)
8GB	FHD(1920 × 1080)	約 40 分	約 17 分	約 57 分	約 150 枚
16GB	FHD(1920 × 1080)	約 1 時間 20 分	約 33 分	約 1 時間 53 分	約 300 枚
32GB	FHD(1920 × 1080)	約 2 時間 40 分	約 1 時間 6 分	約 3 時間 46 分	約 600 枚
8GB	HD(1280 × 720)	約 45 分	約 19 分	約 1 時間 4 分	約 150 枚
16GB	HD(1280 × 720)	約 1 時間 30 分	約 37 分	約 2 時間 7 分	約 300 枚
32GB	HD(1280 × 720)	約 3 時間	約 1 時間 15 分	約 4 時間 15 分	約 600 枚

### ■ オプションの駐車録画 (タイムラプス録画) のみでの記録時間の目安

SD カード容量	フロントカメラ解像度	駐車録画 (1fps)	駐車録画 (2fps)	駐車録画 (5fps)
8GB	FHD(1920 × 1080)	約 18 時間	約 9 時間	約 4 時間
16GB	FHD(1920 × 1080)	約 36 時間	約 18 時間	約 7 時間
32GB	FHD(1920 × 1080)	約 72 時間	約 36 時間	約 15 時間
8GB	HD(1280 × 720)	約 20 時間	約 10 時間	約 4 時間
16GB	HD(1280 × 720)	約 41 時間	約 20 時間	約 8 時間
32GB	HD(1280 × 720)	約 82 時間	約 41 時間	約 16 時間

#### ご注意

- ・ 駐車監視時間は連続最大 24 時間です。
- ・ バッテリー電圧が 11.8V または 23.7V 以下になると自動的に電源をオフします。

※リアカメラの解像度は FHD 固定。

※記録時間は目安であり、ご使用の環境、映像の内容等によって大きく変わります。

※ SD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。(上書き設定がオン時)

※タイムラプス録画：駐車監視モード中、1 秒に設定枚 (1/2/5 枚) の静止画を撮影し、撮影するコマ数を少なくし一定間隔で撮影された画像をつなげ合わせることで早送り再生したような動画を再生できる機能です。

本製品は、1 秒間に 1 枚、2 枚、5 枚の設定が可能です。

## オプションのパーキングモードケーブルを使う

駐車時の録画をタイムラプスで行います。録画の保存は、常時録画と同様に SD カード容量の約 70%の保存領域内で録画繰り返し時間ごとにファイルを作成し、連続撮影をします。領域がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。また、車両のシガーソケットから電源を供給できない場合でも直接、車両に配線することにより電源を供給できます。詳細はパーキングモードケーブル (DC-JD4PK) の取扱説明書を参照してください。

## 本体ソフトウェアのアップデート

本体のソフトウェアがバージョンアップされた場合、弊社ホームページに掲載します。ソフトをダウンロードすることで最新のバージョンにすることができます。

※詳細はホームページを参照ください。

# 故障かな？と思ったら

電源が入らない

- カー電源コードが電源端子にしっかり接続されていない。  
⇒カー電源コードを電源端子にしっかりと接続してください。
- カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続されていない。  
⇒カー電源コードを車のシガーライターソケットにしっかり接続してください。
- カー電源コード先端に入っているヒューズが切れている。  
⇒新しいヒューズと交換してください。
- スクリーンセーバーが ON になっていませんか？  
⇒スクリーンセーバーを OFF にする。(P.23)

映像が記録できない

- SD カードが挿入されていない。  
⇒カードを本体に挿入してください。
- SD カードに異常があると映像記録ができなくなります。  
⇒その場合は SD カードをフォーマットしてから本体に挿入してください。  
※ SD カードは 1 から 2 週間を目安にフォーマットをしてください。

動画再生で映像が飛んだり、カクカクする

- SD カードのスピードクラスが足りていない。  
⇒P.38 解像度の設定を下げるか SD カードを交換してください。

冬期電源を入れた直後画面が暗い

- 液晶画面の性質上、画面が温まるまでは暗い状態が続きます。

画面にドット欠損  
(輝点・滅点)がある

- 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。

日時表示が違う

- 内蔵の充電式バッテリーが放電してしまっている。  
⇒本体に電源が入った状態でしばらく充電してから GPS 測位後、日時を確認してください。充電しても初期値に戻ってしまう場合は内蔵の充電式バッテリーの寿命ですので交換が必要になります。

操作を受け付けない

- SD カードが壊れている可能性があります。  
⇒SD カードを抜いて動作をする場合には、SD カードが壊れている可能性があります。
- 内部コンピューターの異常  
⇒リセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。(P.24)

リアカメラが映らない

- 接続コードがしっかり接続されていない。  
⇒接続コードを確認してください。
- 表示がフロントカメラになっている。  
⇒切り替えボタンでリアカメラに切り替えてください。(P.17)

それでも  
動かないときは

〒194-0037  
東京都町田市木曽西 2-3-8  
株式会社 エフ・アール・シー サービス課  
TEL : 042-793-7746  
土日祝日及び弊社休業日を除く  
【10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00】

# 主な仕様

外形寸法	: フロントカメラ 約 290 (幅) × 72 (高さ) × 18 (奥行) mm リアカメラ 約 59 (幅) × 24 (高さ) × 30 (奥行) mm GPS ユニット 約 38 (幅) × 14 (高さ) × 46 (奥行) mm 突起部除く		
質量	: フロントカメラ 約 370g (microSDHC カード含む) リアカメラ 約 78g (コード含む)/GPS ユニット 約 45g (コード含む)		
記録媒体	: microSDHC カード (16GB 付属) 8 ~ 32GB 対応 (Class10 以上)		
撮像素子	: フロントカメラ 200 万画素 CMOS 鏡像 / 正像切替可能 リアカメラ 200 万画素 CMOS		
レンズ画角	: フロントカメラ 水平 約 111 度 垂直 59 度 (130 度対角)		
	: リアカメラ 水平 約 119 度 垂直 61 度 (146 度対角)		
最大記録画角	: フロントカメラ 水平 約 109 度 垂直 58 度		
	: リアカメラ 水平 約 119 度 垂直 59 度		
記録解像度	: 1920 × 1080 (Full HD) 1280 × 720 (HD) ※ リアカメラは Full HD 固定		
画像補正	: WDR		
GPS	: 搭載		
G センサー	: 有り (オフ、1 ~ 3) 3 段階調整		
記録方式	: 常時録画、イベント録画 (G センサー、手動) 駐車録画 (タイムラプス録画: オプション)		
録画ファイル構成	: 1 分 / 2 分 / 3 分		
画面サイズ	: 11.88 型 IPS 液晶モニター		
音声	: ON/OFF 可能		
フレームレート	: フロントカメラ 27.5fps / リアカメラ 25fps		
映像ファイル形式	: 動画 TS (H.264) 静止画 JPG		
記録映像再生方式	: Windows Media Player 等の H.264 再生ソフトまたは専用動画再生ソフト		
電源電圧	: DC12/24V (本体 DC5V)		
バックアップ電源	: ボタン充電電池 (時計用)		
消費電流	: 約 550mA (DC12V 時)、約 280mA (DC24V 時) 駐車録画 約 300 mA シャットダウン時 約 1mA オプション		
動作温度範囲	: -10 ~ +60℃		
商品保証期間	: 1 年間 (microSDHC カード等消耗品除く)		
言語	: 日本語 / 英語 他 6 言語		

●商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

## 保証規定

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したものです。万一ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
  - ②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
  - ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
  - ④本保証書のご提示がない場合。
  - ⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
- ※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 使用上修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
- 必要なファイルは、必ずお客様にてバックアップをお取りください。お預かりしたデータの保証はいかなる場合でもできません。
- 保証は不具合が発生した製品を販売店にお持ちいただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 保証の範囲は商品のみの保証となり、取り付けや取り付けにかかる費用の保証や商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

※あらかじめご承知いただきたいこと

- ・修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に変わって同等品と交換させていただくことがあります。
- ・出張による修理は一切致しませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書の内容は、機能改善のため予告なく変更する場合があります。

※ SD カード、両面テープは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

### 【サポート問い合わせ先】

株式会社 エフ・アール・シー サービス課

TEL : 042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00】



## 品質保証書

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。万一、ご購入後 1 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保管してください。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参いただくか、弊社宛てに症状をお書き添えの上送付願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店、または弊社サービス課にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

商 品 名	2 カメラ・ルームミラー型 ドライブレコーダー			NX-DR-M22
保証期間	1 年間 ( 消耗品除く )	購入年月日	年 月 日	
お 客 様	ご住所			
	TEL.			
	お名前			
販 売 店	住所			
	店名			
	印			

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

**F.R.C. CO., LTD.**

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曽西 2-3-8

URL <https://www.frc-net.co.jp>



4-264-001